

平成24年度

病害虫情報(第10号)1・2月予報

平成24年12月28日
神奈川県農業技術センター所長

【内容】

I 1・2月の主な病害虫の防除要否、発生・防除時期、防除の要点 …… 1
II 1・2月の病害虫発生予報の内容とその根拠 …… 6
III 1・2月の気象予報及び気象の経過 …… 8

農薬を使用する際は、使用基準を遵守するとともに飛散防止に努めましょう。
掲載農薬は一般的な場合を想定し、防除効果を優先して選定しています。
収穫期の作物が近接している場合など、個別に残留基準値の設定状況を考慮する必要がある場合は関係機関にご相談ください。

病害虫防除部 TEL 0463-58-0333
テレホンサービス TEL 0463-58-6612
インターネット <http://www.agri-kanagawa.jp/nosoken/boujo.asp>

* 農薬に関する情報は、平成24年12月19日までの農薬登録情報に基づいて記載しています。

I 1・2月の主な病害虫の防除要否、発生・防除時期、防除の要点

※ [防除要否] ◎:追加防除が必要 ○:通常防除 △:必要に応じて防除 ×:防除の必要なし

[発生・防除時期] ———— 発生時期 ~~~~ 多発時期 …… 感染時期 ∞∞∞∞越冬・潜伏時期 ←————→ 防除適期

作物名	病害虫名	発生予想 (平年比)	防除要否	発生・防除時期						今月の防除	防除のポイント	
				1月			2月					
				上	中	下	上	中	下			
カンキツ	ミカンハダニ カイガラムシ類	並 —	○ ○	∞∞∞∞	∞∞∞∞	∞∞∞∞	越冬	∞∞∞∞	∞∞∞∞	∞∞∞∞	マシン油乳剤 (95, 97, 98%)	* マシン油乳剤は商品によって使用基準が異なるので、ラベルの記載に従うこと。
チヤ	チャトゲ コナジラミ	—	△	∞∞∞∞	∞∞∞∞	∞∞∞∞	越冬	∞∞∞∞	∞∞∞∞	∞∞∞∞	トモノールS [10月~3月, —] 50~100倍 ラビサンスプレー [10月~3月, —] 75倍	・ 幼虫によるすす病が発生した園で秋期防除を行っていない場合は、冬期に防除を行う。 ・ トモノールSやラビサンスプレーの散布後に赤焼病が発生した場合は、カスミンボルドー等を散布する。ただし、葉害の恐れがあるため、散布間隔を7日以上あける。
ヤ												【チャトゲコナジラミ対策の注意】 ・ 幼虫がすそ葉の葉裏に多く寄生するので、散布前にすそ刈りを行い、すそ部から茶株の頂上部に向けて斜め上方に薬液を散布する。 ・ 散布時は、薬液のドリフトに注意する。 ・ 1月と2月の2回散布が効果が高い。

病害虫情報

(H24・No. 10)

神奈川県農業技術センター

作物名	病害虫名	発生予想 (平年比)	防除 要否	発生・防除時期						今月の防除	防除のポイント
				1月			2月				
				上	中	下	上	中	下		
促成 トマ	灰色かび病	—	○	←		→	←		→	(予)ポトキラー水和剤 [発病前～発病初期, —:ダクト内投入] 10～15g/10a/日 (予)フルピカフロアブル [前日, 4回] 2,000～3,000倍 (予・治)ベルコートフロアブル [前日, 3回] 2,000倍 (予・治)アフエットフロアブル [前日, 3回] 2,000倍等	・ベルコートはイミノクタジン剤。ダイアメリット、ダイマジン等と同じ成分を含む。 ・ベルコートは葉かび病、うどんこ病、すすかび病にも適用あり。 ・アフエットは葉かび病、うどんこ病(2,000～4,000倍)にも適用あり。
	コナジラミ類 タバコ コナジラミ (TYLCV) ハモグリバエ類 アブラムシ類	— — —	○ △ △	←		→	←		→	コロマイト乳剤 [前日, 2回] ハモグリバエ類、コナジラミ類: 1,500倍 クリアザールフロアブル [前日, 2回] コナジラミ類: 2,000～4,000倍 サンクリスタル乳剤 [前日, —] コナジラミ類、アブラムシ類: 300倍 ラノーテープ [栽培期間中, 1回] コナジラミ類: 10～50㎡/10a等	・コロマイト、クリアザール(2,000倍)はトマトサビダニにも適用あり。 ・サンクリスタルはトマトサビダニ、うどんこ病(300～600倍)にも適用あり。 ・ラノーテープは、作物体の付近に設置する。 【マルハナバチへの影響】 ・農薬散布の際は、巣箱を施設から出し、巣箱を再導入する前には、換気を十分に行い、薬液が乾いていることを確認すること。 ・影響のある剤 コロマイト (1日) アフエット (不明)

病害虫情報

(H24・No. 10)

神奈川県農業技術センター

作物名	病害虫名	発生予想 (平年比)	防除 要否	発生・防除時期						今月の防除	防除のポイント
				1月			2月				
				上	中	下	上	中	下		
促	うどんこ病	—	○			(定植)				(予)ダコニール1000 [前日, 8回] 1,000倍 (予)インプレッション水和剤 [発病前～発病初期, —] うどんこ病: 500～1,000倍 (予)ビスダイセン水和剤 [前日, 2回] べと病: 600～800倍 (予・治)ランマンフロアブル [前日, 4回] べと病: 1,000～2,000倍等	・うどんこ病、べと病は、育苗期からの薬剤散布の効果が高い。 ・ダコニールは褐斑病、灰色かび病にも適用あり。 ・インプレッションは灰色かび病にも適用あり。 ・ビスダイセンは褐斑病にも適用あり。
	べと病	—	○	←				←	←		
成	アザミウマ類 (MYSV)	—	○			(定植)				【育苗期：粒剤施用】 ベストガード粒剤 [育苗期, 1回：株元処理] アブラムシ類、コナジラミ類：1g/株 ダントツ粒剤 [育苗期後半, 1回：株元処理] ミナミキイロアザミウマ、コナジラミ類、 アブラムシ類：1g/株 【定植時：粒剤施用】 アルバリン 又は スタークル粒剤 [定植時, 1回：植穴土壌混和] アザミウマ類：2g/株 コナジラミ類、アブラムシ類：1～2g/株 アドマイヤー1粒剤 [定植時, 1回：植穴又は株元土壌混和] ミナミキイロアザミウマ、アブラムシ類：1～2g/株 [定植時, 1回：植穴土壌混和] コナジラミ類：2g/株 【育苗期～定植後：散布】 ベストガード水溶剤 [前日, 3回] コナジラミ類、アブラムシ類、ミナミキイロアザミウマ： 1,000～2,000倍 コルト顆粒水和剤 [前日, 3回] コナジラミ類、アブラムシ類：4,000倍等	・ミナミキイロアザミウマが媒介する黄化えそ病、タバココナジラミが媒介する退緑黄化病の対策として、育苗期から粒剤を施用し、ウイルス感染を防止する。 ・アルバリン、スタークルはハモグリバエ類(2g/株)にも適用あり。
	コナジラミ類 (CCYV)	—	○	←					←		
	アブラムシ類	—	△								
キ											
ユ											
ウ											
リ											

病害虫情報

(H24・No. 10)

神奈川県農業技術センター

作物名	病害虫名	発生予想 (平年比)	防除 要否	発生・防除時期						今月の防除	防除のポイント
				1月			2月				
				上	中	下	上	中	下		
促成イチゴ	うどんこ病 灰色かび病	多 やや少	○ ○	←→		←→		←→		<p>(予)ポトキラー水和剤 [発病前～発病初期, - : ダクト内投入] うどんこ病 : 15g/10a/日 灰色かび病 : 10～15g/10a/日</p> <p>(予)インプレッション水和剤 [発病前～発病初期, -] うどんこ病 : 2,000倍 灰色かび病 : 500～1,000倍</p> <p>(予)フルピカフロアブル [前日, 3回] 2,000～3,000倍</p> <p>(予)セイビアーフロアブル20 [前日, 3回] 灰色かび病 : 1,000～1,500倍</p> <p>(予・治)ベルコートフロアブル [前日(生育期), 2回] うどんこ病 : 2,000～4,000倍 灰色かび病 : 2,000倍</p> <p>(治)サンクリスタル乳剤 [前日, -] うどんこ病 : 300～600倍等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・セイビアーはフルジオキシニル剤。ジャストミート等は同じ成分を含む。 ・ベルコートはイミノクタジン剤。ダイマジン等は同じ成分を含む。
	ハダニ類	並	○	←→		←→		←→		<p>コロマイト水和剤 [前日, 2回] 2,000倍 ダニサラバフロアブル [前日, 2回] 1,000倍 サンクリスタル乳剤 [前日, -] 300～600倍等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロマイトはシクラメンホコリダニにも適用あり。
	アザミウマ類 アブラムシ類 コナジラミ類 タバコ コナジラミ	やや少 やや少 やや少	△ △ △	←→		←→		←→		<p>モスピラン水溶剤 [前日, 2回] アブラムシ類 : 2,000～4,000倍 コナジラミ類、アザミウマ類 : 2,000倍</p> <p>ウララDF [前日, 2回] アブラムシ類 : 2,000～4,000倍 コナジラミ類 : 2,000倍</p> <p>マッチ乳剤 [前日, 4回] ミカンキイロアザミウマ : 1,000～2,000倍</p> <p>サンクリスタル乳剤 [前日, -] アブラムシ類、コナジラミ類 : 300倍</p> <p>ラノーテープ [栽培期間中, 1回] コナジラミ類 : 10～50m²/10a等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ラノーテープは、作物体の付近に設置する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【ミツバチへの影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農薬散布の際は、巣箱を施設から出し、巣箱を再導入する前には、換気を十分に行い、薬液が乾いていることを確認すること。 ・影響のある剤：コロマイト（1日） </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【ミヤコカブリダニ、チリカブリダニへの影響】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロマイト、モスピランは影響あり ・サンクリスタルは多少影響あり </div>

病害虫情報

(H24・No. 10)

神奈川県農業技術センター

作物名	病害虫名	発生予想 (平年比)	防除 要否	発生・防除時期						今月の防除	防除のポイント
				1月			2月				
				上	中	下	上	中	下		
三浦半島地区野菜											
キ	腐敗病	並	○	—	~~~~	~~~~	~~~~	~~~~		<ul style="list-style-type: none"> ・1月中旬頃から発生し易くなるので、計画的に早めに収穫する。 ・発病株を放置すると土壤中の病原菌密度を高めてしまうので、早めに除去する。 	
	菌核病 灰色かび病	やや少 並	○ ○	—	—	←→	←→	←→	←→	菌核病のみ (予・治)ロブラール水和剤 [7日, 4回] 1,000倍 (予・治)アミスター20フロアブル [7日, 4回] 2,000倍等	<ul style="list-style-type: none"> ・結球後の防除効果が期待できないので、春キャベツへの感染を防ぐため、発病株は見つけ次第除去、処分する。
ベ ツ	黒腐病	やや少	△	—	←→	—	—	—	—	(予・治)カセット水和剤 [7日, 3回] 1,000倍 (予・治)バリダシン液剤5 [7日, 5回] 800倍	<ul style="list-style-type: none"> ・カセットはオキシロニック酸剤とカスガマイシン剤の混合剤。スターナ、ナレート、カスミンボルドー等と同じ成分を含む。 ・カセット、バリダシンは軟腐病にも適用あり。
ダ イ コ ン	黒斑細菌病	やや多	○	←→	~~~~	~~~~	~~~~	~~~~	~~~~	(予)Zボルドー [-, -] 500倍 (予・治)銅パーシン水和剤 又は カスミンボルドー [14日, 3回] 1,000倍等	<ul style="list-style-type: none"> ・Zボルドー、銅パーシン、カスミンボルドーの薬害が懸念される場合は、クレフノン(100~200倍)を加用する。 ・銅パーシン、カスミンボルドーは銅剤を含む混合剤。Zボルドー等と同じ成分を含む。 ・左記の剤は軟腐病にも適用あり。

病害虫情報 (H24・No. 10) 神奈川県農業技術センター

Ⅱ 1・2月の病害虫発生予報の内容とその根拠

作物名 病害虫名	発生量		予報の根拠
	程度	平年比	
カンキツ ミカンハダニ	少	並	1) 県予察ほでは、発生が平年並。(±) 2) 10月の巡回調査では、発生が平年並。(±) 3) 12月の気温は平年より低く、降水量は平年より少ない。(±) 4) 1月は、気温は低く、降水量は少ない予報。 2月は、気温は平年並か低く、降水量は平年並か少ない予報。(±)
促成イチゴ うどんこ病	少	多	1) 巡回調査では、発生が平年よりやや多い。(+) 2) 1月は、気温は低く、降水量は少ない予報。 2月は、気温は平年並か低く、降水量は平年並か少ない予報。(+)
灰色かび病	少	やや少	1) 巡回調査では、発病が見られず、発生が平年よりやや少ない。(－) 2) 1月は、気温は低く、降水量は少ない予報。 2月は、気温は平年並か低く、降水量は平年並か少ない予報。(－)
アブラムシ類	少	やや少	1) 巡回調査では、発生が平年よりやや少ない。(－) 2) 1月は、気温は低く、降水量は少ない予報。 2月は、気温は平年並か低く、降水量は平年並か少ない予報。(±)

作物名 病害虫名	発生量		予報の根拠
	程度	平年比	
促成イチゴ オンシツコナジラミ タバココナジラミ	少 少	やや少 やや少	1) 巡回調査では、オンシツコナジラミ、タバココナジラミともに発生が平年よりやや少ない。(－) 2) 1月は、気温は低く、降水量は少ない予報。 2月は、気温は平年並か低く、降水量は平年並か少ない予報。(±)
ハダニ類	少	並	1) 巡回調査では、発生が平年よりやや少ない。(－) 2) 1月は、気温は低く、降水量は少ない予報。 2月は、気温は平年並か低く、降水量は平年並か少ない予報。(+)
アザミウマ類	少	やや少	1) 巡回調査では、寄生が見られず、発生が平年よりやや少ない。(－) 2) 1月は、気温は低く、降水量は少ない予報。 2月は、気温は平年並か低く、降水量は平年並か少ない予報。(±)

病害虫情報 (H24・No.10) 神奈川県農業技術センター

作物名 病害虫名	発生量		予報の根拠
	程度	平年比	
三 浦 半 島 地 区			
早春キャベツ 腐敗病	少	並	1) 巡回調査では、発病が見られず、発生が平年並。(±) 2) 1月は、気温は低く、降水量は少ない予報。 2月は、気温は平年並か低く、降水量は平年並か少ない予報。(±)
菌核病	少	やや少	1) 巡回調査では、発生が平年よりやや少ない。(－) 2) 1月は、気温は低く、降水量は少ない予報。 2月は、気温は平年並か低く、降水量は平年並か少ない予報。(±)
灰色かび病	少	並	1) 巡回調査では、発病が見られず、発生が平年並。(±) 2) 1月は、気温は低く、降水量は少ない予報。 2月は、気温は平年並か低く、降水量は平年並か少ない予報。(±)
黒腐病	少	やや少	1) 巡回調査では、発病が見られず、発生が平年よりやや少ない。(－) 2) 1月は、気温は低く、降水量は少ない予報。 2月は、気温は平年並か低く、降水量は平年並か少ない予報。(±)

作物名 病害虫名	発生量		予報の根拠
	程度	平年比	
三 浦 半 島 地 区			
冬ダイコン 黒斑細菌病	少	やや多	1) 巡回調査では、発生が平年より多い。(＋) 2) 1月は、気温は低く、降水量は少ない予報。 2月は、気温は平年並か低く、降水量は平年並か少ない予報。(±)
ナモグリバエ	中	少	1) 巡回調査では、発生が平年より少ない。(－) 2) 県予察ほ(三浦)の黄色粘着板への成虫誘殺数は、平年より少ない。(－) 3) 1月は、気温は低く、降水量は少ない予報。 2月は、気温は平年並か低く、降水量は平年並か少ない予報。(±)

(注) 「発生量」の表示 程 度：甚>多>中>少>無
 平年比：多>やや多>並>やや少>少
 「予報の根拠」 (＋)：多発要因 (－)：少発要因

Ⅲ 1・2月の気象予報(気象庁 地球環境・海洋部12月25日発表3か月予報)

〈天 気〉

1月 平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

2月 平年に比べ晴れの日が多いでしょう。気温は、平年並または低い確率ともに40%です。降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。

〈気温、降水量の各階級の確率(%)〉

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
1月	気温	40%	30%	30%
	降水量	40%	30%	30%
	日照時間*	40%	30%	30%
2月	気温	40%	40%	20%
	降水量	40%	40%	20%

*:12月28日発表1か月予報より

〈気象の経過〉 [観測地 横浜地方気象台]

12月第5半旬まで

気温は、1～3, 5半旬は平年より低く、4半旬は平年並だった。

降水量は、1～2, 4半旬は平年より少なく、3半旬は平年並、5半旬は平年より多かった。

日照時間は、1, 4～5半旬は平年より少なく、2～3半旬は平年より多かった。

